

平成 22 年 5 月 12 日現在

研究種目：基盤研究 (C)

研究期間：2007～2010

課題番号：19520587

研究課題名 (和文) 環境歴史学からみた「森」と「原」「野」に関する研究
—日本の古代・中世を中心に—研究課題名 (英文) A study on Forest and Grassland from the standpoint of
Environment-History

研究代表者

飯沼 賢司 (IINUMA KENJI)

別府大学・文学部 教授

研究者番号：20176051

研究代表者の専門分野：環境歴史学 日本古代・中世史

科研費の分科・細目：史学・日本史

キーワード：森 野 火 水 野焼き

1. 研究計画の概要

研究は、「森」と「原」「野」という対極にあるものを取り上げ、古代から中世の形成の社会の自然一人間の関係の特質を環境歴史学の視点から明らかにしようとする試みである。「森」や「原」「野」は水田や畑などの耕地に比べると、人間から遠い存在で、これまで歴史の研究の俎上にあがってこなかった。しかし、森と神社の関係、地目としての「野」の存在を考えると、自然と人間関係を考察するもっとも重要なキーワードといえる。本研究では、歴史的アプローチと文学的アプローチを総合化し、阿蘇を中心に草原と森の関係を考察する一方、都市空間における森と野の役割を明らかにしようと考えている。

2. 研究の進捗状況

(1) 阿蘇山の西山麓の「野」で天正6年までおこなわれていた下野狩神事の史料を永青文庫で発見し、この史料を翻刻し、現地調査を行い、阿蘇における「森」と「野」の歴史を解明する作業を進めている。

(2) 京都などの都市空間の周縁に広がる「野」「森」に注目し、それが都市空間とどのような関係にあるのかを文学、歴史の両面から分析している。

(3) 歴史資料、文学資料に見える「原」「野」と「森」の用語を整理し、「原」「野」と「森」の関係、歴史的変遷を明らかにし、今年度その成果を発表する予定である。

3. 現在までの達成度

「森」と「原」「野」に関する史料を歴史資料と文学資料の両面から調査・研究を進めてきた。ほぼ当初の計画どおりに進行している。しかし、成果の公開の面でやや問題がある。昨年度、最終年度を迎える前に、この研究の基礎資料となる「阿蘇下野狩関係史料」を公刊しようと考え、公開促進費を申請したが、採用されなかった。本年度、再度公刊を挑戦したい。

研究の面では、阿蘇の下野狩神事の分析を通じて、野焼きと草原の利用の歴史を解明できる段階になった。また、平城京平安京などの都市の生活の中で野や森がどの位置付けをもつかが文学や歴史史料の分析から少しずつ解明できる段階となった。しかし、歴史と文学の総合化という面では、分担者との検討がまだ不足している面がある。本年度その部分を詰めて行きたい。

4. 今後の研究の推進方策

研究代表者は、総合地球環境学研究所のプロジェクト研究「日本列島における人間－自然相互関係の歴史的・文化的検討」の九州班の班長を務め、考古学や自然科学的手法を取り入れ、阿蘇・くじゅうなどの草原の形成・維持の問題を検討してきた。

ここでは、古代・中世という短期的な時間の中ではなく、狩猟・放牧と野の利用、火と野の関係を旧石器・縄文時代から検討し、阿蘇の「野」が縄文時代から維持されていることと推定した。日本の「野」は、自然にでき

たものではなく、「狩猟」「放牧」「農業」などの長年にわたる人間の営為の結果として維持されてきたことが明らかにされつつある。

本研究では、そのような長い時間の中で、古代・中世の時期がどのような位置にあるのかを明確にする必要がある。また、森と野の文化は、東アジア世界・世界の中でどのような位置にあるのかが課題となってきた。そこで、今年の3月、中国雲南省の棚田地帯、畑作地帯の調査を行い、この問題のヒントを得ようと考えた。

今年度の最終報告で、この成果を整理し、盛り込もうと考えている。また、今後の研究は、日本の森と野の文化のグローバルな歴史の中でどのような位置づけもつのか、その特性はなにかが課題となってきた。

最終年度の報告書では、このような展開を意識しつつ、阿蘇における調査、都市周辺における調査というフィールド的調査成果と文献上の用語的調査の成果をまとめあげることが目標にしたい。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計2件)

- ①飯沼賢司「永青文庫所蔵『下野狩日記』『下野狩旧記抜書』の成立とその史的価値」『史学論叢』40号 2010年3月 1-11頁
査読 無
- ②浅野則子「変貌する感性—万葉集における蛭をめぐって—」『別府大学紀要』50号 2009年2月 1-9頁 査読 無

[学会発表] (計2件)

- ①飯沼賢司「阿蘇下野狩神事から草原と森の世界を読む」鎌倉遺文研究会 於早稲田大学 2009年3月26日
- ②飯沼賢司「阿蘇下野狩神事から草原の歴史を読む」総合地球環境学研究所主催研究集会「日本の半自然草原の歴史」 於 国立阿蘇青年の家 2008年9月13日

[図書] (計2件)

- ①飯沼賢司監修編著 大分県の歴史シリーズ『大分・由布の歴史』 2007年 郷土出版社 247頁
この図書の一部を浅野則子執筆
- ②豊田寛三監修飯沼賢司編著 大分県の歴史シリーズ『海部・大野・竹田の歴史』 2007年 郷土出版社 246頁